

喜多方の歴史に学び、名品に出会う

Bon Soir  
mouisseurs  
et madame  
Comment allez  
vous  
セビロマ



アンリ・マティス 『マティス嬢の肖像』 大原美術館所蔵

喜多方・夢・アートプロジェクト2016  
大原美術館所蔵作品展

# せびろまの夢

## まはマティスのマ展

2016年10月23日 日 — 11月13日 日

※背景にあるサインは、佐藤恒三がセビロマ会の会員に宛てたパーティー案内状の一文です

- 主催 喜多方・夢・アートプロジェクト運営委員会  
 運営委員会構成団体：喜多方市 / 喜多方市教育委員会 / 福島県立博物館 / 喜多方観光物産協会 /  
 会津喜多方商工会議所 / きたかた商工会 / 会津よつば農業協同組合 / 喜多方市ふるさと振興株式会社 /  
 会津北部森林組合 / 喜多方蔵の会 / 喜多方市文化協会 / 喜多方市校長会 / 喜多方市行政区長会
- 特別協力 公益財団法人大原美術館
- 協力 NPO 法人まちづくり喜多方 / NPO 法人喜多方市グリーンツーリズムサポートセンター /  
 喜多方美術協会 / イーゼル会 / 喜多方市立図書館 / ハシモトアートオフィス
- 後援 福島民報社 / 福島民友新聞社 / 朝日新聞福島総局 / 読売新聞東京本社福島支局 / 毎日新聞福島支局 /  
 産経新聞福島支局 / 河北新報社 / NHK 福島放送局 / 福島テレビ / 福島中央テレビ / 福島放送 /  
 テレビユー福島 / ラジオ福島 / ふくしま FM / 喜多方シティエフエム



# セザンヌ・ピカソ・ロダン・マチス… 喜多方の文化活動セピロマ会の夢を叶える 今年はアンリ・マチス!

「せびろまの夢」は、大正期の喜多方倶楽部※1から昭和前期のセピロマ会※2へと連なる、かつて喜多方の町衆たちが中心となって行ってきた地域に根ざした文化活動の歴史を紹介する企画展です。岡山県倉敷市に所在する公益財団法人大原美術館による特別協力のもと、2013年から継続的に開催しています。

4年目となる今年は、「セ・ピ・ロ・マ」の「マ」にあたるアンリ・マチスの大原美術館所蔵作品、『マチス嬢の肖像』『女の戦』『混血の女』『ジャズ』(16点)やセピロマ会の中心人物である佐藤恒三作品、喜多方美術倶楽部、セピロマ会関連の資料を展示します。

また、2005年大原美術館によるレジデンスプログラム「ARKO (Artist in Residence Kurashiki, Ohara)」に参加したアーティスト・津上みゆき氏を喜多方に招いて、「せびろまの夢レジデンス」(アーティスト・イン・レジデンス)を行い、津上氏が倉敷滞在で制作した作品を含む大原美術館所蔵作品と今年度喜多方で滞在制作を行った作品もあわせて展示します。喜多方の芸術文化の「過去」と「現代」が楽しめ、せびろまの「夢」を「未来」へ繋げる展覧会です。

※1) 喜多方美術倶楽部

1918(大正7)年に、喜多方の商工業者(=町衆)たちによって組織され、小川芋銭や石井柏亭などの画家を喜多方に招き、制作支援や作品販売を目的とした画会を開催するなど、1926(大正15)年に活動の終わりを告げるまで、会津地方における芸術文化の普及に努めました。

※2) セピロマ会と佐藤恒三

彫刻家・佐藤恒三を中心に、喜多方美術倶楽部の気運を引き継いだ美術愛好家たちによって1946(昭和21)年に発足されたのが「セピロマ会」です。佐藤恒三(1904~1965)は、喜多方美術倶楽部の会員であった佐藤彌右衛門の三男として生まれ、東京美術学校彫刻科に学び、在学中より文展、帝展への入選を果たしました。ロダンに傾倒していた恒三は、卒業後に渡仏を願いますが、戦時下の社会情勢から断念。その西洋美術への憧れが、セザンヌ・ピカソ・ロダン・マチスの頭文字を冠した「セピロマ会」の創設へと至りました。

アンリ・マチス	津上みゆき
『マチス嬢の肖像』 『女の戦』『混血の女』 『ジャズ』	『View-“Cycle” 26 Feb.-10 Apr., 05』 『View - a piece of days 01-04』 『View - a piece of days, Apr.-May, 04』
※この他、佐藤恒三作品2点、津上みゆき氏が喜多方で新たに制作した作品が展示されます。	

## 公益財団法人大原美術館

大原美術館は、1930(昭和5)年に、西洋近代美術を常設公開する日本で最初の本格的な美術館として倉敷の地に設立されました。著名な作家の作品展示だけでなく、近年はアーティスト・イン・レジデンスのプログラム「ARKO (Artist in Residence Kurashiki, Ohara)」等による若手芸術家の支援、「チルドレンズ・アート・ミュージアム」などのイベントや、年間で延べ4000人を超える未就学児童の受入れなど未来を担う子供たちのための教育普及活動などにも力を入れて、現在も発展し続けている美術館です。



## 津上みゆき

1973年東京生まれ大阪に育つ。京都造形芸術大学大学院芸術研究科修了。1997年の初個展より、風景に由来する自作に「View」と名付ける。大学院在学中の関口芸術基金賞によるニューヨーク滞在制作時に独自の「風景画」と向き合う。2003年VOCA賞受賞。2005年大原美術館(岡山)主催滞在制作プログラム「ARKO」の第一回に招聘され、自然光のアトリエの中、日々のスケッチを基にした「View」へと発展する。2005年大原美術館、2008年スパイラルガーデン(東京)、2013年一宮市三岸節子記念美術館(愛知)にて個展。2013年五島記念文化賞美術新人賞受賞。2015年文化庁、ポーラ美術振興財団、朝日新聞文化財団の助成を受けドイツにて滞在制作と個展。翌年、東京のポーラミュージアムアネックス、ギャラリー・ハシモトにて個展。



## 喜多方市美術館

〒966-0094 喜多方市字押切 2-2  
TEL.0241-23-0404 FAX.0241-23-0406  
http://www.kcmofa.com/

交通アクセス

- ・JR喜多方駅から約1.5km 徒歩20分 タクシーで5分
  - ・磐越自動車道会津若松ICから約19km 車で30分
  - ・磐越自動車道会津坂下ICから約19km 車で30分
- 開館時間 10:00~18:00 (最終入館17:30)

休館日 水曜日

観覧料	一般	500(400)円
	高校・大学生	300(250)円
	小・中学生	200(150)円

※( )は20名以上の団体割引料金



### オープニングイベント

ギャラリートーク

日時: 10月23日(日) 10:30~11:30

会場: 喜多方市美術館展示室

出演者: 津上みゆき(2016年招聘作家)

吉川あゆみ(大原美術館主任学芸員)

参加費: 無料 ※当日観覧券が必要です。(申込み不要)

### トークイベント

日時: 10月23日(日) 17:00~19:00

会場: 大和川酒蔵北方風土館昭和蔵

参加費: 無料(申込み不要)

『アートが結ぶ 倉敷・喜多方』

パネリスト: 大原謙一郎(大原美術館名誉理事長)

高階秀爾(大原美術館館長)

赤坂憲雄(福島県立博物館館長)

モデレーター: 川延安直(福島県立博物館専門学芸員)

### ワークショップ「ほほ津上さん、喜多方の場合」

#### ①「あなたの風景」

風景を新しい目で見つめ、観察することで発見し、描くことで記憶します。

日時: 11月5日(土) 9:30~12:30

会場: 蔵の里 イベント蔵

講師: 津上みゆき(2016年招聘作家)

定員: 15名(小学校低学年は保護者同伴)

材料費: 1000円(スケッチブック、鉛筆)

申込み: 要申込み(申込み先: 喜多方市美術館)

#### ②「あなたの場所」

あなたが存在することを「現時点」「原風景」をキーワードに、会津木綿に描いてみます。

日時: 11月6日(日) 13:30~16:00

会場: 蔵の里 イベント蔵

講師: 津上みゆき(2016年招聘作家)

定員: 15名(小学校低学年は保護者同伴)

材料費: 1000円(会津木綿、木製パネル)

申込み: 要申込み(申込み先: 喜多方市美術館)

### クロージングイベント

#### 第1部〈対談〉

『アーティストをとおしてみる喜多方』

日時: 11月13日(日) 15:00~16:00

会場: 喜多方市美術館 第2展示室

講師: 津上みゆき(2016年招聘作家)

柳沢秀行(大原美術館学芸課長)

参加費: 無料 ※当日観覧券が必要です。(申込み不要)

#### 第2部〈クロストーク〉

『せびろまの夢から…』

日時: 11月13日(日) 16:30~18:00

会場: 大和川酒蔵北方風土館昭和蔵

参加費: 無料(申込み不要)

講師: 花澤武夫(2013年招聘作家)

北城貴子(2014年招聘作家)

上田暁子(2015年招聘作家)

津上みゆき(2016年招聘作家)

柳沢秀行(大原美術館学芸課長)

モデレーター: 遠藤葉里寿(喜多方市美術館学芸員)

### お問い合わせ・申込み

喜多方市美術館 0241-23-0404 (水曜日除く 9:30~17:30)